

## 学位論文内容の要旨

学位申請者	濱崎 タマエ【論文博士】 【人間発達科学専攻 平成21年度生】 (平成27年3月31日単位修得退学)	要 旨
論文題目	授業空間としてのホームの発見と可能性 —小学校家庭科における実践記録再読を通して	<p>本論文の目的は、学校教育における能動性主義が子どもの「生」の自由にもたらす影響を、筆者自身の実践記録に現れた子どもの授業経験に定位しつつ、省察するなかで、むしろ受動性が満つる授業空間としてのホーム(home)が子どもの生の自由を保障する可能性を明らかにすることである。</p> <p>1章では、「空間と経験」が孕む両義性と教育の意味を考察し、つづく2章では、教育の営みとホーム概念とが節合可能性を考察した。3章では、授業空間としてのホームがどのように立ち現われているか、93年、97年、2000年の3つの事例を再読実践した。4章では、生を養う営みとしての教育の実現可能性を、25年前と23年前の卒業生2名、当時の子どもの声を傍らで聴き取ってきた、元養護教諭らが語る、授業経験の痕跡を追うインタビュー調査によって考察した。5章は、自由の実践としての授業空間のあり様と学校教育における実現可能性をモンテッソーリ教育と大人の科学クラブを展開する科学教育の実践家2名のインタビュー調査によって考察した。</p> <p>以上の結果、授業におけるモノ・コト・ひと等の媒介作用を活性化する援助者、媒介者たる有機的知識人としての教師役割が授業空間としてのホーム創出の鍵となることを論じた。</p>
審査委員	(主査) 教授 小玉 亮子	
	教授 浜口 順子	
	准教授 富士原 紀絵	
	教授 池田 全之	
	東京大学大学院教育学研究科	
	教授 小国 喜弘	